

SAESH.

2018年11月 北海道/美深町議会



CONTENTS

第107号

美深町議会





この議会広報は、地球にやさしい再生紙を使用しています。

議長に南和博議員

第3回定例会

さ

れ

和

信議員が当選されました。

これに伴う副議長選挙に

ょ

議長

0

選挙を行

1)

ました。

議長

には副

議

長

0

南

和

博

議

員

が

1)

て議会議

長倉 会は

兼

政 月

彦氏

0

逝 定

去 例

に

ょ

1)

町

議

9

10

日

会に

お

副議長に齊藤和信議員が就任

が議長に 副議長の 副議長選挙が議 就いたことに 南和博議

されます。

べられました。 長が追悼のことばを述 選による案とすること 全員賛成により指名推 は、その方法が諮られ、 並びに山口信夫美深町 祷を行い、 長故倉兼政彦氏への黙 議案審議に先立ち、 された第三回定例会は、 議長の選挙につい 諸岡勇議員

任委員会は4名で構成 の各常任委員会間の れました。 された旨の報告がなさ 健委員が委員長に 選を行った結果、 招集され、委員長の互 総務住民常任委員会が はなく、総務住民常 総務住民・ 産業教育 就任 和田 異

たのち、中野勇治議員るべき人の承認を行っ

が南和博議員を推選し、

全議員がこれを承認

になりました。

指名す

は議長が指名すること を全議員が承認し、 題に付され、 選挙方法

10

日午前10

時に

開

会

であるため、 住民常任委員会委員長 されました。 信議員が副議長に当選 長の指名により齊藤和 齊藤和信議員は総務 直ちに、

当選 Ď,

就任挨拶



南 和博 議長

この度の倉兼議長の急逝により、 9月定例 会において指名推選で議長に推選いただき第 十代議長に就任させていただきました。これ まで倉兼議長の下で副議長として3年4ヶ月補 佐役として勉強させていただきましたが、あ らためて議長という責任の重さを感じており ます。今後は来年4月までの残任期間を前議 長の遺志を引き継ぎ、議会改革及び統一地方 選挙にむけた議員のなり手不足問題等の課題 解決に取り組んでいきたいと思います。町民 皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。



副議長 齊藤 和信

第3回定例会において指名推選により副議 長の命を受け、身の引き締まる思いです。

突然の倉兼議長の死去により議会構成の変 更によるものです。

残された任期も来年4月末までです。

年々本町も少子高齢化という大きなうねり の中で人口も商店街も減少し大変な時期を迎 えていますが、住民・議会・町理事者が力を 出し合い、この難関を乗り越えて行くようしっ かりと議論をしてまいります。

倉兼政彦議長の逝去を悼む



美深町議会葬

8月31日に亡くなった倉兼政彦美深町議会議長の議会葬が、9月2日・ 3日の両日、美深町文化会館COM100でしめやかに営まれました。

> 美深町議会議長 it 故倉兼政秀氏

1

tc

い際 美深町議会葬 葬儀委員長 に ただきまし 美深町議会葬を執 上げます。 多くの皆様方にご会葬を たことに厚くお礼 り行 () ま

れました。 故人との別れを惜しま 数のご会葬をいただき、 会議員をはじめ、 歴任されました。 常任委員会委員長、 生活の半ばでした。 選から7期28年の議員 営み、平成3年の初当 市町村長、町民など多 管内市町村議会議長、 前職の国会議員、 会運営委員会委員長を 員会委員長、産業建設 在職中は総務常任委 倉兼政彦氏は酪農を 葬儀には現職並びに

においても発言を重ね 議長会はじめ関係会議 全道町村議 指導力を発揮されまし 験と深い考察をもとに き将来、町民の生活第 ある農業を始め、 的に取り組まれました。 など議会改革には積極 や議員定数・広聴活動 に就任され、 する社会潮流の中にあっ の課題について、経 美深町の基幹産業で 美深町が向かうべ 激動

美深町長

山

12

信

平成30年 第3回定例会

17

算 4 件、 別委員会が設置され平成29年度決算審査が行われ承認された。 第3回定例会は9月10日から14日までの日程で開かれ、 意見書2件が提出され審議された。会期中、決算審査特 補正予

側から9月6日の停電 が行われた。 事故について行政報告 住民生活に影響は出 議案提出に先立ち町

教訓を今後に生かして 集、伝達の対応につい 係に被害が発生してい はなかったが、 いくとの回答があった。 て質問があり、事故の る報告がなされた。 たが大きな被害の報告 議会側から情報の収 酪農関

般会計補正予算

が増額補正となった。 料など3300万円余 らの寄附金など、歳出 確保のための広告宣伝 ぬくもり助成、開業医 や田村二郎氏、スバル、 では町有建物解体や、 三洋コンサルタントか 歳入は交付金の決定

> なく、探したが見つか 者を公募したが応募が

はないか。

も可能なので利用希望 っかりしていて再利用 総務G主幹 構造がし 建物と

囲で宣伝するの

どのような節

解体となる 旧恩根内中学校体育館 か。 質問

る。 載で道内での宣伝とな 医報の月刊誌に4回掲 保健福祉G主幹

者を公募していたので

質問

校体育館は利用 旧恩根内中学 旧恩中体育館解体

校と美深小学校の教旨 学校特別教室、旧美林 住宅3棟が解体となる ロッジ、旧恩根内中学 (その他、 旧仁宇布スキー場 旧恩根内中

ふるさと納税

けたが、 のか。 質問 省から指摘を受 どう対応する 返礼品が総務

原案可決〔全員賛成〕

原・岩崎議員

質問

斎藤・荒川

藤

き上げ、3割以内にな あった。寄附金額を引 部規定を超えたものが 総務G主幹 の額が一 返礼品

るよう対応する。 開業医誘致条例

般会計~主な補正内容~

補正前の額	補正額	補正後の額
52億2,996 万円	3,398万円	52億6,394 万円

02182,990 7月1		3,390,1	リンとに	30,034 731]	
歳入 (寄附金)	開拓120年記念事業寄附金 一般寄附金			1,220万円	
総務費	町有建物解体工事請負費			1,680万円	
民生費	ぬくもり助成事業費			212万円	
農林産業費	配水管	等補修工事請負置	貴	530万円	
土木費	雪寒機	械購入費		△ 981万円	
教育費	美深ス	キー場圧雪車修繕	善料	350万円	

質問 けで十分なのか。 道内の宣伝だ

らず解体処分すること

いのか。 他の手段は考えていな

り対応を考えていく。 ていきたい。状況によ まずは道内から発信し 法は複数考えているが

保健福祉G主幹 官

原案可決 〔全員賛成〕

特別会計補正予算

正となる。 定等による歳出歳入補 特別会計予算が事業確 保険・下水道事業の各 国民健康保険・介護

核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書【要約】

昨年7月「核兵器禁止条約」が国連加盟国193ヵ国のうち122ヵ国の賛 成で採択された。条約締結国は核兵器の開発、実験、生産、製造及び保有、貯 蔵、使用、威嚇を禁止している。唯一の被爆国である日本は、核兵器のない世 界を望む国内外の世論と核廃絶の世界の流れを積極的に主導すべきである。

よって日本政府に対し、核兵器禁止条約に早急に署名し、批准されるよう強 く求めるとともにそれまでの期間はオブザーバーとして締結国会議及び検討会 議に参加するよう強く求める。

提案に質疑

小口 提出者 英治 議員 賛成者 中野 勇治 議員 和田

健 議員 勇 議員 諸岡 和信 議員 齊藤 岩崎 泰好 議員 長岐 和彦 議員

賢一 議員

日本は唯一の被爆国として、戦後一貫して核廃絶を 訴え続け、非核三原則を宣言し核保有国にも核軍縮の 働きかけを行っている。核兵器禁止条約には核保有国 は参加せず核軍縮の実効性が疑問視されており、早急 に批准すべきとする意義は何か。(藤原)

日本は全方位的外交をするべきで、核禁止条約に署 名するべきである。(小口)

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を 求める意見書【要約】

我が国の森林は、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給など多面的機能 が期待されており、これらの機能を発揮させるには「植えて育てて、伐って使っ て、また植える」といった森林資源の循環利用を進める必要がある。

木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用・所得拡大 による地方創生に大きく貢献するものである。今後、人工林資源が本格的な利

用期を迎える中、既存制度や来年度から始まる森林環 境譲与税(仮称)を活用した地域の特性に応じた森林 整備の着実な推進や森林資源の循環利用による林業・ 木材産業の成長産業化の実現に向けて、施策の充実・

岩崎 提出者 泰好 議員 英治 議員 賛成者 小口

> 藤原 芳幸 議員 長岐 和彦 議員 荒川 賢一議員

②トロッコ事業、 ウザメ事業につい が①地域おこし協力隊、 10 月2日陸別町議

11/₁₆ 11/_{12~13} 10/₃₁

行政視察議会広報特別委員会

会広報特別委員

懇談会

0

と 日 目的とし、 時代に対応した議会の 演が行われ 活性化に資することを 催されま 10 月23日、 高博昭氏による講 雲田康夫氏 した。 当麻

> 10/2 9/14

行政視別町

察議来町

議会広報特別委員会

本会議

議案審議

10/23 10/18

議会広報特別委員会

議上員川

研修会:

村議

編 集作業の 住民参加)技術

議会の

動

き・

8 31

全員協議会

⁹⁄₄

議会運営委員会

広報誌作 報の 住民目線、 研修会が行われ に読まれ伝わる議会広 |芳野政明氏が「住民 広報コンサル 基本と編集」との りを改めて学 か、

換を交わした後、 業概要等説明 委員会委員が出 行 役場において政視察で来 |員会委員が出席、事||者及び総務住民常任 、施設等を案内 院察で来 Ĺ 意見 チ **B**J ∃

員が参加-

て開

選合れ議会広報委

8

月22日、

札幌市

$9/10 \sim 9/14$

第3回定例

決算審查特別委員会 決算審查特別委員会 提案説明·一般質問 議会運営委員会

5

議会広報研修会

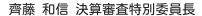
書2件を採

陸別町議会来町視察

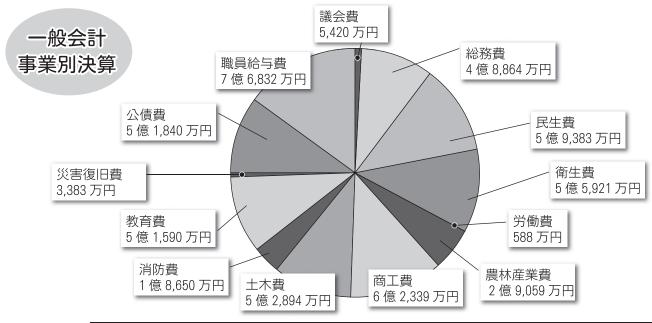
強化を図ることが必要である。

決算審查特別委員会

9月12日・13日の2日間、決算審査特別委員会が 施策評価調書・決算説明書等により行われた。







29 年度 各会計 決算額

会計区分 一般会計	特別会計				企業会計		
	国民健康保険	後期高齢者	介護保険	北部水道	下水道	中央簡易水道	
決算額	51 億 6,763 万円	6億3,980万円	7,451 万円	5億1,877万円	2,159 万円	3億1,453万円	1億772万円
前年度比	2.4%	△1.6%	3.5%	1.5%	∆33.6%	△0.5%	△52.6%

注目の決算









総合計画第1章

自然環境と調和する 安全・安心なまち 「美深

曲は。 れていないが、 夏場チップの納入がさ スボイラーでは、 木質バイオマ その理

場にフル稼働させるこ 用しない夏場は灯油の 経費の面で、暖房を使 給湯を賄っているが、 とで効率を図っている。 ほうが安価となり、 企画 G主幹 設の暖房 温泉施 冬

ゴミ収集運搬事業

まで以上の負担を住民 質問 ではないか。 に求めるのは難しいの について、これ ゴミの減量化

生活環境G主査 化ゴ 炭

類ではミックスペーパー 別変更があったが、紙 という収集方法や、 ミについては新たな分

> 組んでいる。 無料収集も実施し、 家庭の負担軽減に取り 成26年から小型家電の 各

移住定住促進対策事業

るのか。 その要因を分析してい びついた事例は少ない。 最終的に移住定住に結 質問 の実績はあるが、 体験住宅利用

> 商工観光係長 希望者

と分析している。 イの形に可能性がある 定住するシーズンステ く、状況的には夏期に を持たれている方が多 は冬期間の生活に不安

防災体制の充実

ルの一斉配信は運用外 情報収集が困難となる 話への緊急エリアメー 経験をしたが、携帯電 質問 な停電において 今回の全町的

だったのか。

情報文書係長 アメー エリ

外だった。 害の扱いがされず運用 規定があり、 した場合に限った運用 ルは甚大な災害が発生 停電は災

法など新たな取り組み のこともあり、実施手 の北海道胆振東部地震 質問 施件数で、 防災訓練の実 今回

が必要と考えるが。 情報文書係長 訓練の 防災

ば1、 いる。増えてくればと考えて 施を重ねる中で要望が おり、少しずつ訓練実 実施件数は毎年できれ 2件を想定して

公共交通の充実

での分別作業

増につながるのでは 転換することで利用者 考えれば、戸口対応に 報告があるが、冬場を が年々減少傾向という 運行事業では、 質問 ニティーバスの 市街地コミュ 利用者

リサイクルセンタ

企画係長 バスの戸口 フレンド

中で、大きな課題とし していきたい。 対応は活性化協議会の て捉えながら十分検討

後の進め方は。 て、地区の要望から今 公共交通に関し 恩根内の地域

治会から要 恩根内自

スを利用した実証試験 望を受け、スクールバ 企画係長

> がらなかった。 を実施したが成果が上

もって進めていきたい。 がら具体的な方向性を これまでにない取り 自治会と協議しな 発想が必要であ

質問者 藤原・長岐・和田・小 岩崎・荒川・

総合計画第2章

資源をいかす 活力に満ちたまち「美深」

商工業の振興

程度か。 世代の制度利用はどの 法。現在、特に子育て くり推進事業は時限立 質問 づくりと店舗づ 快適な住ま

助や古い住宅のリフォー ムに利用が多い。商工 方は新築住宅の建築補 商工観光係長 世代の 若い

> 望も想定し、今後制度 おり、商工会からの要 業の振興にも寄与して の在り方を検討したい。

企業誘致促進事業

は。 質問 取り組み内容 企業誘致促進

地理的に不利な面から 算付けはしていないが、 企画G主幹 として予 事業費

厳しい状況。

を主に行っている。 会を設置しておりPR 対策のため推進協議

がんばる美深農業

は。 るが、 今回必要性を認めてい 考えはないとの方針を、 質問 行政がこれを推進する 方針転換の経緯 において、当初、 GAP の取得

ではなく、取り組むこ 支払交付金を受ける際 に、GAPの認証取得 農畜産係長 全型直接 環境保

理の取り組みのこ 環境保全等の持続 GAPとは、 可能性を確保する において食品安全、 ための生産工程管 農業

で終了となるが、 質問 農業は平成30年 がんばる美深 認定

> 果は。 図られたのか。その成 農業者の収量アップは

> > 目標であり、役場職員

による町経済活性化が

質問者

藤原・荒川

長岐・和田・岩崎委員

も一丸となって事業推

農畜産係長 29年と品 28 年、

進に努力したい。

につながった。 向上やステップアップ また、ポイント制によっ うことで、概ね収量アッ 質向上の取り組みを行 て、農業者の方の意識 ノにつながっている。

チョウザメ振興事業

脱字や金額の誤りがあ のが見えないが。 るだけで、具体的なも る。また、活性化に向 質問 けても項目を並べてい 業振興計画には、 チョウザメ事

とが条件に入り、交付

対象の要件に合わせた。

したい。 たことは反省し、 おいて見落としがあっ 企画G主幹 の細部に 計画書

的にキャビアの商品化 ある。より具体性を求 単には表せない部分が められているが、将来 総務課長 ついては簡 活性化に

総合計画 第3章

次代をつくる人を 育てるまち「美深」

英語教育の推進

質問 向けての取り組みは。 語教育の整備に 子供たちの英 平成 29

英語助手(ALT)と英 の取り組みで小学校に る人材を置いている。 語の面接官資格を有す 教育G参事 年度、初

家庭教育推進事業

るのか。 いがどの様になってい 質問 事業の実積がな 家庭教育推進

いる。 フェスタ等を開催して 理教室、親子ふれあい 合う機会として親子料 社会教育係長 が触れ 親子

COM100自主事業

業の状況はどの様になっ が自主的に企画した事 質問 自主事業の町民 COM 100

た者に対して断った事 あった者に対して中身 取り組みの申し込みが 00万円位持っている。 を検討し助成している。 教育G主幹 今まで申し込みがあっ しては1 予算と

子供110番

機能しているのか。 質問 教育G主幹 の現状と役割は 子供110番 件登録し 現 在 70

> を行い登録者と再度協 議したい。 ているが、家の確認等

> > 在の人員で足りている。

天塩川自然学校

は微増しているが、

現

スポーツ合宿

いないが、今後考えて R活動はしているのか。 質問 教育G主幹 支援交付金のP スポーツ合宿 に進めて 具体的

いるのか。

助はどれ位か。

また宿

泊料等の基準は定めて

質問

校の維持費の補 天塩川自然学

児童館·子供教室

いきたい。

置不足はないのか。

教育G主幹

年利用者 ここ数 質問

教室の人材の配

児童館と子供

ているのか。

はない。

年度でみるとスポーツ 年間10万円程度である。 きいが3年間でみると、 クラブの持ち出しは大 48万円出している。 教育次長 -は定めていない。 宿泊料等の明確な基 補助は毎年 維持費の



合宿受入施設として期待される 天塩川自然学校

方法は。 質問 校の今後の活用 天塩川自然学

後は合宿の受け入れ施 年度で辞めたため、 来たが、専門職員が29 設として考えている。 ウトドア事業を行って 水産省の補助を頂きア 29年に農林 平成28年• 今

教員住宅

の入居割合は。 質問 き状況と単身者 教員住宅の空

き家はない。 教育G参事 年度は空 平 成 29

36戸中28戸。 単身者の入居割合は

書館運営事業

質問 てているのか。 し目標値はどの様に立 業の図書貸し出 図書館運営事

均値で目標を立ててい 教育G主幹 年間の平 過去 5

ホーム

ホスター

理体制は。 質問 ター Ш 村留学ホス ホームの管

ないので報告に至って め、 つあるが、決定してい 教育次長 ある程度固まりつ 降人材を含 次年度以

タブレット化

化の考えは。 質問 ンのタブレット 教育用パソコ

教育G参事 協議して 学校と

かかる。 いるがもう少し時間が

質問者 荒川・岩崎委員 長岐・藤原

総合計画第4章

健康で明るく

暮らせるまち「美深」

特養の老朽化

対する今後の対応は。 質問 ーム老朽化に 特別養護老人

ドマップ上危険性があ

保健福祉G主幹

ハ

るので、移転改築で進 んでいく計画である。

未受診者への対応

の対応は。 質問 診者へのその後 精密検査未受

は翌年の検査を受ける 者には、再検査若しく ら報告を受け、未受診 保健係長 先の機関か 受診委託

老朽化が進む特養 今後の行方は

様指導をしている。

包括支援センターの課題

たのか。 事業に対し課題はなかっ 質問 センターの運営 地域包括支援

包括支援C副主幹 総

知の部分においてはま ので課題は多い。 だまだ知られていない 談・権利擁護事業の周

除雪サービス

サービスの現状はどの 様になっているのか。 質問 充実の中の除雪 高齢者支援の

行っている。 福祉係長 協に委託し 現在は社

る。 て多少遅れが生じてい いが、降雪の量によっ 事業自体は変わらな

要介護認定

ているのはなぜか。 認定者数が多少減少し 質問 を受ける要介護 介護サービス

> 介護保険係長 29 年度 平成

> > 緊急通報装置

スを受けることができ けなくても介護サービ からは要支援認定を受

胃がんリスク検診

のか。 はどの様になっている 質問 検診導入の経過 胃がんリスク

検査で行っていく。 しては、当面バリウム 討はしているが現状と 保健係長 検査等の検 ピロリ菌

る様になったため。

保健福祉G副主幹

か。

報装置は稼働できたの

質問

電の際に緊急通

先日の長期停

問した。 じない方には自宅を訪 ると消防の方へ連絡が 入るシステムになって 数時間持つので、 しては電話を入れ、 いる。その後の対応と 報装置はバッテリーで 切れ 急通 通

質問者 和田・岩崎委員 長岐・藤原

総合計画第5章

4 んなでつくる 心かようまち「美深」

行政評価実施兼務

極的に公表すべきでは 事務事業評価調書は積 質問 説明責任のため、 住民に対する

副町長 町とにおいて評価に鯛 とができる。 れており、読み取るこ の度合いとして触れら 齬が出る場合もあり、 書の中で一定 施策評価 担当者と

考え。 積極的な公表はしない

自治会活動推進事業

増えているが、 をどう考えるのか。 者の自治会未加入者が した方や独身 転勤で町に移 自治会連 対応策

らいいるのか把握した 提起し、地域コミュニ て、未加入者が何名く ティ活動の推進に努め い。連合会の中で問題 合会を通じ

美深あ っぱれ隊のヨサコイソ ラン

国際交流推進事業

具体的な交流策は。 村との今後の アシュクラフ

市調印20周年を最後に、 企画係長 度の友好都 平成26年

> う広範囲の中で考えた の中で、国際交流とい いない。次期総計策定 交流事業は行なわれて

質問者 荒川委員 岩崎・

財産に関する調

記帳漏れの要因は。 台帳整理で、錯誤・ が平成28・29年

行政普通財産

総務課長 当者のチェッ 当時の担

> 全ての誤りを整理した。 クし直し、土地、 ク漏れが原因。再度チェッ 建物

質問者 小口委員

総 括 質 疑

チョウザメ事業

質問 書の具体的な内容が明 とする割には事業計画 して産業振興、雇用、 がる町の活性化を目的 による地方創生事業と 移住定住につな 業は産官学連携 チョウザメ事

びふかふれあい広場2018 ふれあい交流会

補完する新たな計画書 確でない。 今後、この計画書を

携で取り組む内容の計 索して産官学連 経過の中で模

将来の財源確保に意を 色々と心配されるが、

> は今のところはない。 たな計画書を示す考え 配していく段階で、

間の空き地等を賃借し 離れることになる。 では、冬の住みづらさ 除雪体制を指導すべき 雪が残されている。 してはどうか。 て利用することも検討 から高齢者も美深町を ではないか。このまま で、もう少し工夫した 民も高齢化している中 の敷地内に除雪による て、依然として玄関先 質問 除雪方法につい 市街住宅地

2台体制で行うよう指 の指摘で現在の方法に があるが除雪が悪いと 幅を抑えて行った経過 導している。敷地内に 入れないように大小の は極力、敷地内に雪を 雪を入れないように拡 前に民地の除雪が町道 している。早朝除雪の 建設水道課長 地除雪 市街

策定されないのか。

よる弊害もある。 に掻き出されることに

ているとは思っていな わが町の除雪体制が劣っ たからと言って決して が、完全民間委託になっ

自主財源確保 また行政運営の中で

完璧な除雪は難しい

収入増をいかに図るか ふるさと納税増や財産 般の見込みは。 今後の歳入全

旧態依然の条例等の精 査必要ではないか。 都市一極集中、

するものを作ってきた。 を行ってきた。施策の 題や広域行政を模索し 顕著で、その間合併問 の減少で地方の疲弊が の人口減、高齢化、担 れまでまちづくりに資 基本は条例であり、こ ながら堅実に行政運営 い手不足、地方交付税 て生き残り策を模索し それに伴う地方

> 手支援条例など胸を張 れるところもある。 挑戦を国が評価してく がら行政運営していく。 挑戦のバランスを見な ある。財政の堅実化と れる効果のある条例も

副町長 る。クレーム処理も委 託契約している。 を活かしてもらってい おり、総務省指導に基 のアドバイスを受けて スに委託し返礼品開発 全国展開のノウハウを た我が町のコンセプト 持っている㈱レッドホー つき地元産品に限定し を上げて税収 町民の所得 納税業務は ふるさと

を視点に努力したい。 確保策をいかに図るか 増につながる自主財源

質問者 中野・長岐

問

国

の規制がないが草刈を基本に

除草剤の安全性と散布の現状は

i 政の 3 が聞 き た W

(1) がん撲滅の取り組みをどのように進めるのか

崎泰好 議員

質問 がん対策推進計 第3期北海道

野別の施策と個別目標 画についての見解と分 について美深町の対応、

法は。 期発見、がん検診の充 管理の実施の現状と手 対策、がん検診の制度 実について受診率向上 策の内容とその目標は。 症等美深町としての施 ●二次予防のがんの早 一次予防のたばこ対 生活習慣病、感染

所見を伺う。 する知識の普及啓発に さらには就労支援は。 からの緩和ケアの推進、 ついては教育長にその がんと診断された時 がん教育、がんに関

除草剤の散布による

情報端末や地域担当員

学校での除草剤の散布 教育長に伺う。 の実状について町長と 安全性についての見解の がん発生因子の有無と 美深町の町有施設や

めていく。 町も道と一体となり進 定をされており、 がん対策推進計画は策 な脅威として、北海道 民の生命と健康に重大 町長 んであることから、 の第1位が、 北海道の死因 美深 道

からも更なる周知啓発 め、道内の高い喫煙率 に向けた周知啓発を進 育など住民の意識向上 特定保健指導、 禁煙リーフレットの配 布、ポスターの掲示、 本町のたばこ対策は、 健康教

じて、がん予防に繋げ らの基本検診、 て行きたい。 診、特定保健指導を诵 を推進していく考え。 している20代、 生活習慣病の予防で 本町が独自に実施

を適切に実施。 接種や検査など、 の方針に基づいて予防 感染予防対策は、 围

るなど、少しでも受診 朝の受付、集団検診、 検診の休日の実施や早 の取り組みでは、がん 発見、がん検診充実へ 広報さらに回覧・防災 特別検診を組み合わせ しやすい体制を考えて 2次予防のがん早期 受診率の向上対策は かなければならない。

携協力を図る。

や健康相談などがん検 診の受診率向上を目指

受診率向上を図る。 今後さらに精密検査の 査が必要な方に対する 」重な受診勧奨に努め がんと診断された時

報を周知するなど連携 サロンや緩和ケアの情 を整え、ハローワーク 者や家族を対象とした 名寄市立総合病院が指 として、上川北部では や指定病院などとの連 てがん患者の働く環境 就労支援には職も含め と情報提供している。 定されている。がん患 がん医療連携指定病院 と就労支援は、 からの緩和ケアの推進 北海道

や規制がなされる状況 内では、具体的に指摘 因果関係は、一部の製 報告があるものの、 があるとの外国の研究 品に発がん性の危険性 除草剤のがん発生の

知

にな

制度管理は、

基本的に草刈りで対応 う場所や天候、 健康被害が生じないよ 散を原因とする住民の ざるを得ない場合は飛 の使用は事実。 的であるが一部除草剤 に配慮して実施する。 している。 町有施設や学校では、 非常に限定 時間帯 使用せ

さという形で行ってい 動など生活習慣の大切 適切な食事や飲酒、 の中で触れており、 業において、 校・中学校の保健の授 教育長 施設で除草剤は、 学校及び社会教育 現状は、 がん教育の ており、不健康管理 小学 運



所管事務調查

調査事項

雪害による町有施設の被害状況と 今後の対策に

- ①町有施設の被害状況
- ②被害防止対策について

調査の内容

現地調査を行った。 べるため、聞き取り・ の多い年の対策等を調 た。今後この様な降雪 有施設に被害を及ぼし 常に多かったため、 2番目の177 mと非 点の降雪量が観測史上 平成30年2月2日時

1びふかアイランド内 調査対象施設 ③キャンプ場西側炊 ②木質バイオマスボ ①野外ステージ イラー建屋

事棟

2仁宇布観光トイレ 6ほっとプラザ☆スマ 5職員住宅3棟 4南改善センター 3大手改善センター ④チョウザメ館

調査のまとめ

調

査

H

平成30年8月20日

不足によるものが大き 帰と軒先支柱を増やし ①野外ステージ屋根軒 指定管理者による管理 て補強をしているが、 梁の補修による現状復 去に数回の破損をして 先破損については、 いと思われる。 いるが、今回は折れた

るが、今後はこまめに である。 見回り点検を行うべき 管理用梯子の破損につ ラー建屋屋根及び外壁 ②木質バイオマスボイ いては、屋根の構造上 に問題があると思われ

④職員住宅3棟につい ウザメ館裏ロパナペッ が必要である。 つもりで管理すること ては、入居者が自宅の べきである。 足によるものが大きい 棟屋根軒先破損・チョ ③キャンプ場西側炊事 まめに雪下ろしを行う と思われる。今後はこ トについては、管理不

害に対する保険加入状 ⑥今回の町有施設の被

なお、今後入居者と

ている。

ほっとプラ

職員住宅損害 損害額70%、 布観光トイレ

額50%となっ

る。今回の改修では 事であった。 をコンクリートで巻い 増やし、立ち上げ支柱 不足であったと思われ 破損については、強度 ⑤ほっとプラザ☆スマ の決め事が必要である。 の契約についても細部 今後は対応できるとの アンカーボルトの数を て補修を行ったことで イルの防雪フェンスの

ド野外ステ ージ 害を受けたアイ ラ

0 0 % 外壁損害額1

仁宇

が多いことから、今後 ス等、 指定管理者と十分協議 断せざるを得ない施設 るべき。管理不足と判 想定される状況と考え 天候の変遷からすると 降雪とあるが、昨今の 短期間の想定を超える ⑦破損原因について、 入すべきである。 なものは、積極的に 、きである。 必要な予算を措 責任を明確にす 保険加入が可能 ザ☆スマイル の防雪フェン 加

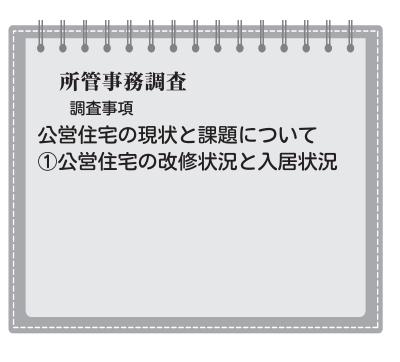
況は、

アイラ

ンド内施設指

スボイラー建 木質バイオマ 害額の50%、

屋屋根および



委員 会 産業教育常任委員会

調査のまとめ

を行った。 の聞き取り・ 去10年間)、

円以上の改修状況

(過

入居状況 現地調査

宅について、

100万

居率91・5%となって 60戸に対して238 ている。また、各団 等の課題が要因となっ 住宅特有の冬期間堆雪 いないほか、2階建て 者ニーズにもかなって 連の水準の低さ、高齢 建物の老朽化や設備関 ち21戸は西団地であり、 いる。空室は22戸のう 戸が入居しており、 在の入居状況は、 では年次計画により内 平成30年度6月末現

65 歳以上親族のいる世帯数の比較(美深町)

	H27年		H22年		
		構成比		構成比	
持ち家	908	85.0%	936	86.0%	
公営等の借家	133	12.5%	119	10.9%	
民営借家	14	1.3%	22	2.0%	
給与住宅	11	1.0%	7	0.7%	
間借り	2	0.2%	4	0.4%	
計	1,068	100.0%	1,088	100.0%	

西団地再整備計画 長寿命化型 改善ゾーン F棟 E棟 D棟 C棟 B 棟

調査 公営住宅・特公賃住 一の内容

平成30年7月23日

調

查

E

平成27年度の国勢調査 世帯数を平成22年度と 65歳以上親族がいる

いる。 長寿命化型改善ゾーン 建て替え、E~F棟は D棟は木造低層住宅に ての考えは、 としての計画になって 年数を迎えるためA~ 西団地の将来に向 順次耐用

世帯の減少、公営等の は、 20世帯減少となってお 帯から1068世帯で 借家は119世帯から 帯から908世帯で28 で見ると、1088世 住宅所有関係別 持ち家が936世

地の公営住宅のあり方 増加となっている。 高齢者及び積雪寒冷

き課題である。

133世帯で14世帯の

いく必要がある。整備できるか検討し る手法もあり、

営住宅建設が市街地に として、 供給できないか研究す 公営住宅の形態として 営住宅として借り上げ 建設した共同住宅を公 また、民間事業者が ·棟 1 新たな -戸の公

水工事などの改修を行っ 部改修や屋根塗装、



私からのメッ

美深町へやって来た 人からメッセージを いただきました。

自



新

て春、 戦しながらも近隣の方 ないまま初めての冬を 年半が経ちました。 の助けもあり冬を越え 大雪となりました。 迎えた昨年は記録的な が必要なのかも分から での生活も徐々に体に 美深町に移住して1 夏を経て北海道 何 苦

> 馴染んできたような気 ら来ました。 がしています。 私は江東区の深川か 美深町に

域おこし協力隊に応募 美深町に興味を持ち地 を育ててみたいと言う の自然の環境で子供達 点で、父親の生まれた

しました。

視野であったり感覚が 新しい出会いによって 事しか分かりませんが、

自分の出来る範囲内の

北海道に来て未だに

R活動をしてきました。

テップアップして行き 常にきっかけを求めて と日々実感している所。 徐々に変わっているな

たいと思っています。

雄っ 介け 町外で中川の秋味まつ りに出店し美深町のP 年を記念した夏まつり

行灯祭り、開拓120

イベントでは町内の

森り

下た

移住した理由は北海道 す。 てPR活動をしていま 軽食とコーヒーを提供 元野菜や果物を使用し したガレット料理に地 にて営業をしています。 売店テッシグルメカフェ 今は主に道の駅の外 主に蕎麦粉を使用

一然とともに暮 田た

の場所でげんきに育っ 素晴ら 美深町での体験を通し 業するなら、自然に近 ようになり、 てその思いが芽生える いところでやりたい、

取り組んでいます。 日々わくわくしながら 菓子をお届けしたり ント等で美深町の魅力 駅をはじめ、道内、 とともに多くの方にお ていただいたり、 州でもお菓子を置かせ この環境で作業でき いまは美深町の道の イベ

りたいと願っています。 喜びをつなぐ役割であ のお菓子がこれからも ることが何よりも嬉し く、美深町・| 二三草学

気の緩みが事故招き 酒ですまない赤キッ 瞬の **G**

転撲 滅

とてもあたたかく、こ 気持ちよく、毎年のよ 身を置くことがとても 美深町を訪れて以来、 して8年前にはじめて うに訪れるようになり この手つかずの自然に 出会う町の人たちは 農業ボランティアと ひとつになる、 しい日々を過ごしまし 星空を見上げて自然と た作物はとびきり美味 しくて、雲のない夜は

いましたが、 は札幌のレストランに こちらに移住する前 自分が起

深町で菓子工房【一二

三草堂】を開業するこ

とができました。

の方の協力・応援をい

たくさん

ただき、今こうして美

、平成30年11月22日、北海道美深町議会

1(議会事務局) 印刷/侑美深印刷